

本市のごみ処理の現状及び課題

- 家庭系ごみの1人1日当たりの量は645g／人・日（平成23年度一般廃棄物実態調査から算出）
・県平均540g／人・日と比較して、約100g／人・日多くのごみを排出している。
県内54市町村中49位（50位：東栄町、51位：常滑市、52位：飛島村、53位：美浜町、54位：南知多町）
- ごみ排出量は、平成15年度に大きく減少し、20年度から21年度に大きく減少。近年は横ばい状態。
- 事業系ごみは年々減少している。
- 資源回収量は年々大きく減少している。
- 可燃ごみの中には、資源として回収可能な紙類が多く含まれている。（ごみの内容物（可燃物）調査から）
- 不燃ごみの中には、資源として回収可能な缶類・ビン類が多く含まれている。（ごみの内容物（不燃物）調査から）
- 平成25年度のごみ処理経費は、約14.5億円（平成24年度：約15.3億円、平成23年度：約13.2億円）

家庭系収集ごみの減量に効果的な施策が必要

資源化施策の検討が必要

現在は、ごみの排出量に応じて手数料を負担するという仕組みではないため、ごみの減量・資源化に取り組んだ市民の努力が報われない制度で、公平性が確保されていない。

平成36年度から東海市と共同で次期清掃センター稼働。（両市のごみ排出量に応じた費用負担となることが一般的）

ごみの減量が喫緊の課題であり、ごみの減量・資源化に取り組んだ市民は、費用負担が軽減される仕組みづくりが必要

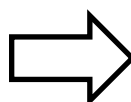
**ごみの資源化施策と並行しながら、
ごみの減量に効果的な家庭系収集ごみ有料化に取り組む。**

＜平成23年度一般廃棄物処理事業実態調査＞

＜平成24年度一般廃棄物処理事業実態調査＞

	市町村名	原単位 (家庭系ごみ)	有料化導入
1位	幸田町	388g/人・日	○
2位	大口町	434g/人・日	
3位	犬山市	446g/人・日	○
4位	小牧市	453g/人・日	
5位	江南市	455g/人・日	
49位	知多市	645g/人・日	
50位	東栄町	646g/人・日	
51位	常滑市	659g/人・日	
52位	飛鳥村	715g/人・日	
53位	美浜町	743g/人・日	
54位	南知多町	786g/人・日	

	市町村名	原単位 (家庭系ごみ)	有料化導入
1位	幸田町	394g/人・日	○
2位	江南市	433g/人・日	
3位	大口町	444g/人・日	
4位	小牧市	453g/人・日	
5位	犬山市	461g/人・日	○
46位	常滑市	633g/人・日	○
49位	東栄町	647g/人・日	
50位	知多市	648g/人・日	
51位	武豊町	700g/人・日	
52位	美浜町	711g/人・日	
53位	飛鳥村	776g/人・日	
54位	南知多町	804g/人・日	



平成24年10月に
家庭系収集ごみ
有料化導入

県平均
540g/人・日

県平均
548g/人・日

●常滑市の状況

- ・平成24年10月に家庭系収集ごみ有料化導入(自由販売から変更)
- ・指定袋の料金: 45ℓ…50円/枚 30ℓ…30円/枚 20ℓ…20円/枚 10ℓ…10円/枚

導入後半年で約4%のごみ減量

●幸田町の状況

- ・平成17年4月に以下の料金を改定(45ℓ…20円/枚 30ℓ…17円から改定)
- ・指定袋の料金: 45ℓ…45円/枚 30ℓ…30円/枚 20ℓ…20円/枚

料金改定後から徐々にごみ減量

●犬山市の状況

- ・平成21年12月に家庭系収集ごみ有料化導入(指定袋なしから変更)
- ・指定袋の料金: 45ℓ…30円/枚 30ℓ…20円/枚 20ℓ…10円/枚 10ℓ…7円/枚

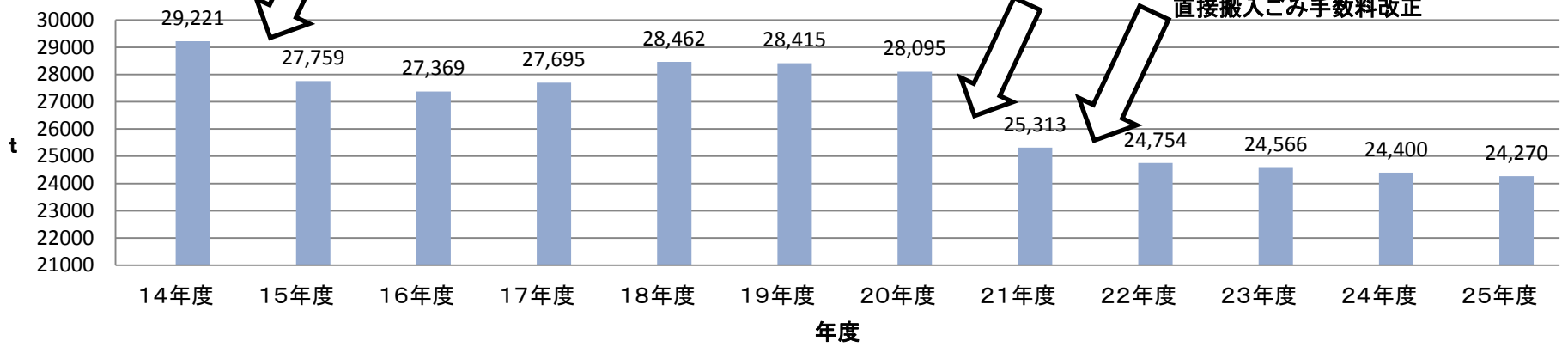
導入後1年で約10%のごみ減量

<ごみ排出量> (家庭系ごみ+事業系ごみ)

平成20年から平成21年にかけて大きく減少したが、その後、横ばい状態である。

指定ごみ袋制度導入
直接搬入ごみ手数料制度導入

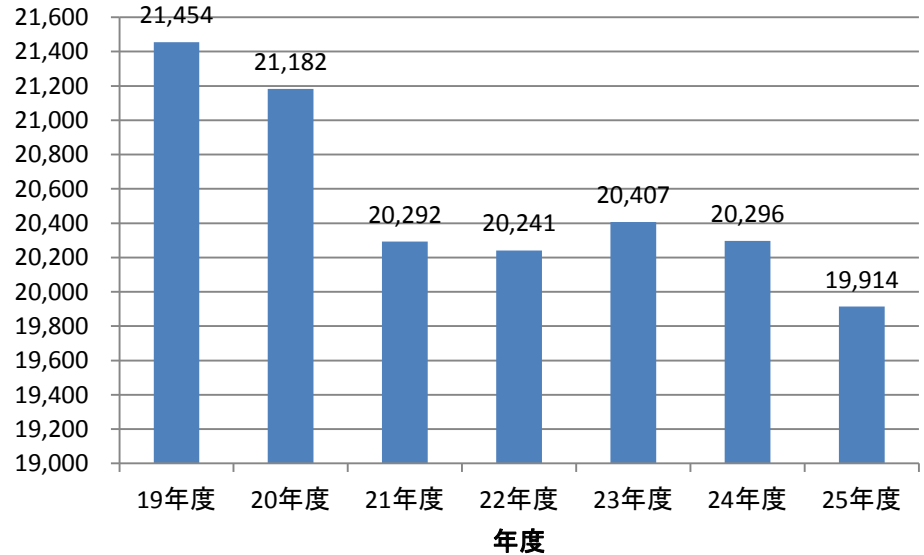
ごみ排出量



<家庭系ごみ排出量>

平成20年から平成21年にかけて大きく減少したが、その後は、ほぼ横ばい状態である。

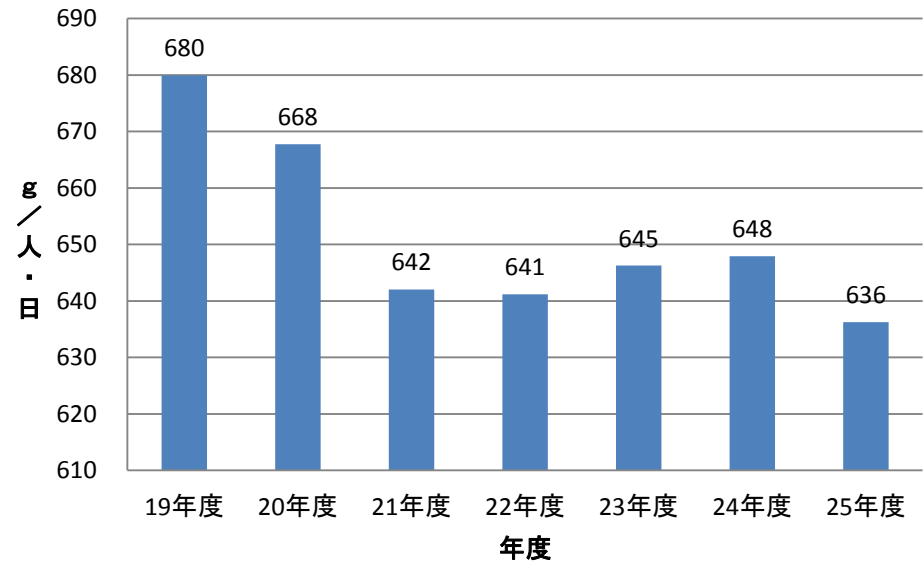
家庭系ごみ排出量



<原単位(家庭系ごみ排出量)>

「家庭系ごみ排出量」と同様。

原単位(家庭系ごみ排出量)

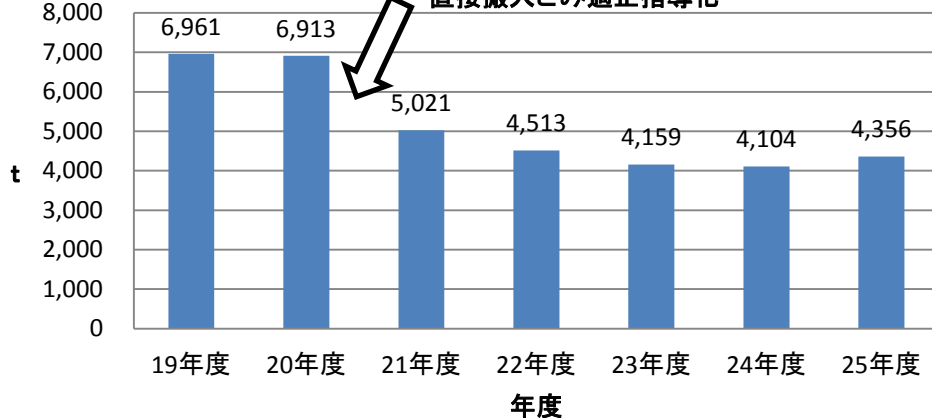


<事業系ごみ排出量>

平成20年から平成21年において大きく減少したが、その後は、ほぼ横ばい状態である。

事業系ごみ排出量

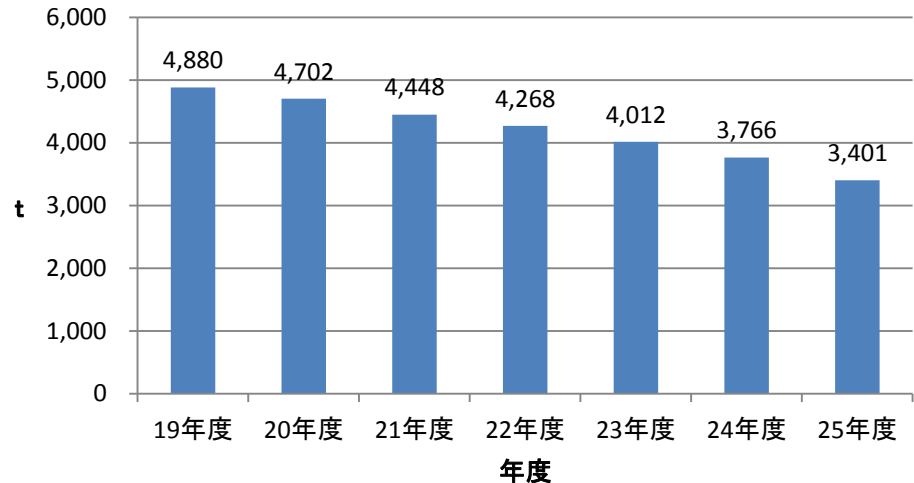
直接搬入ごみ適正指導化



<資源回収量>

年々、減少している。

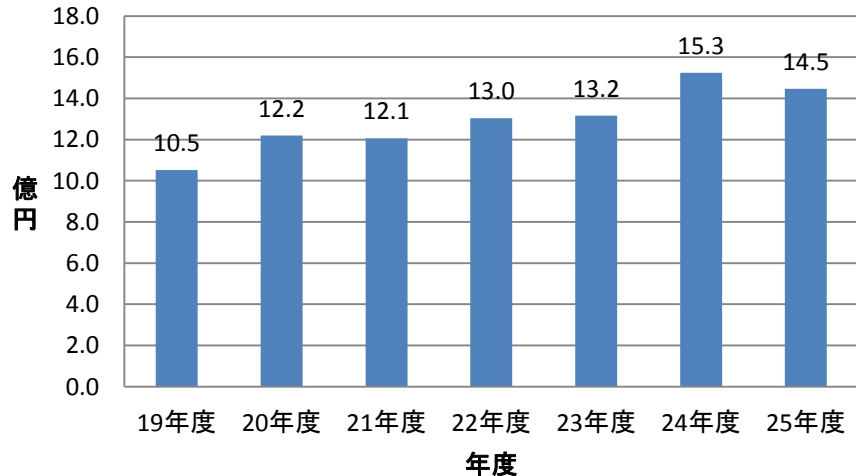
資源回収量



<ごみ処理費用>

ごみ処理費用は、平成24年度、15.3億円、平成25年度、14.5億円と大幅な増加傾向を示している。

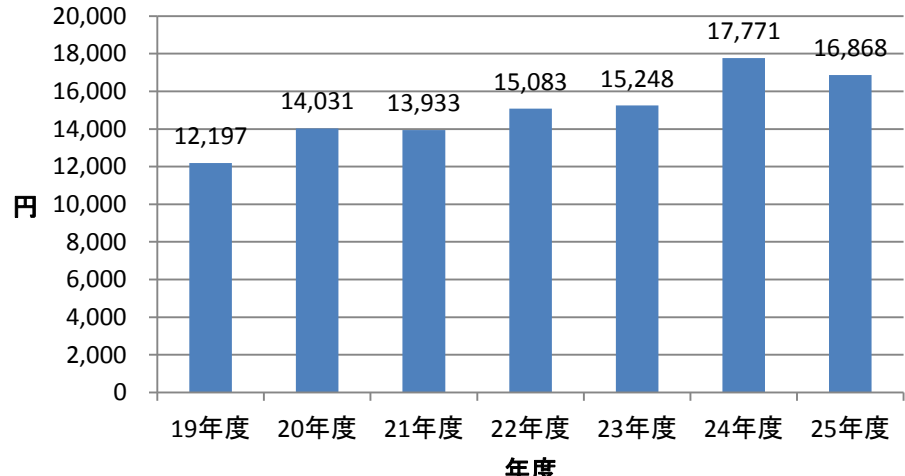
ごみ処理費用



<1人当たりのごみ処理費用>

1人当たりのごみ処理費用も増加傾向を示している。

1人当たりのごみ処理費用



＜可燃物のごみ内容物調査＞（平成26年度）

・団地内のごみ収集場所

調査対象ごみ袋数		92袋
資源入りごみ袋数		80袋
資源	新聞	12袋
	ダンボール	7袋
	雑誌・雑紙	73袋
	ペットボトル	14袋
	白色トレイ	11袋
	衣類	7袋
	牛乳パック	10袋

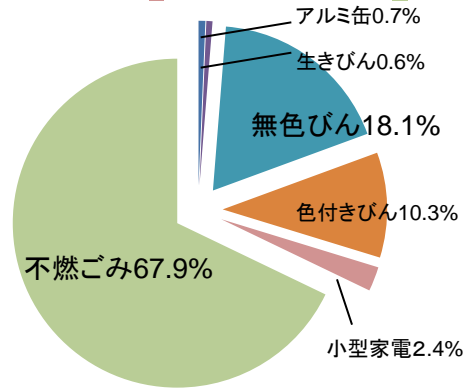
・2棟のアパートに隣接したごみ収集場所

調査対象ごみ袋数		57袋
資源入りごみ袋数		51袋
資源	新聞	17袋
	ダンボール	4袋
	雑誌・雑紙	47袋
	ペットボトル	17袋
	白色トレイ	14袋
	衣類	2袋
	牛乳パック	10袋

＜不燃物のごみ内容物調査＞（平成26年度）

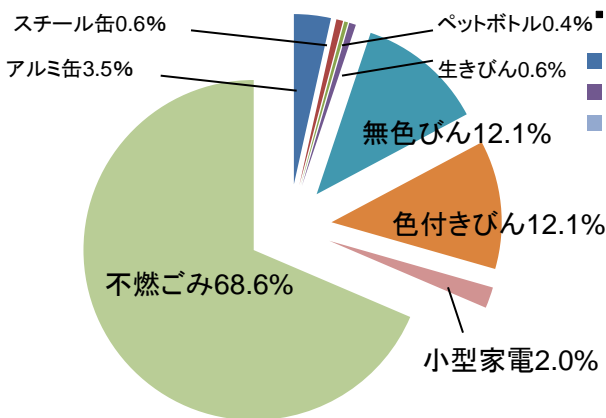
・住宅専用地区内のごみ収集場所

- アルミ缶
- 生きびん
- 衣類
- スチール缶
- 無色びん
- 小型家電
- ペットボトル
- 色付きびん
- 不燃ごみ



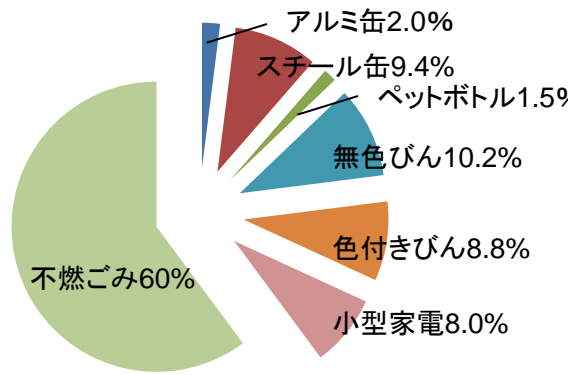
・分譲マンションのごみ収集場所

- アルミ缶
- 生きびん
- 衣類
- スチール缶
- 無色びん
- 小型家電
- ペットボトル
- 色付きびん
- 不燃ごみ



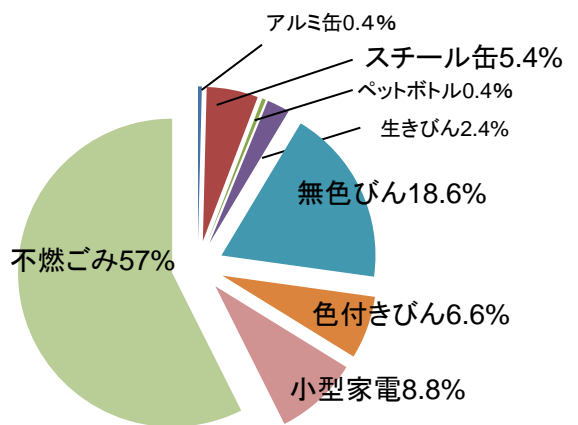
・農家混住地区のごみ収集場所

- アルミ缶
- 生きびん
- 衣類
- スチール缶
- 無色びん
- 小型家電
- ペットボトル
- 色付きびん
- 不燃ごみ



・商業地隣接住宅地内のごみ収集場所

- アルミ缶
- 生きびん
- 衣類
- スチール缶
- 無色びん
- 小型家電
- ペットボトル
- 色付きびん
- 不燃ごみ



＜可燃物のごみ内容物調査＞（平成26年度）



＜不燃物のごみ内容物調査＞（平成26年度）

